

顎関節症について

食いしばりの患者さんの多くは**口が開けにくい、開けると痛い、顎の関節から音がする**等の症状があります。この3症状を歯科では顎関節症と言います。

このような訴えがある患者さんの顎関節は、**脱臼**しています。

そして噛み合わせの違和感を訴える方が多いようです。

脱臼する原因はさまざまですが、とにかく脱臼した関節を整復する事が急務です。

関節の整復は困難であると言われていたますが、実は比較的簡単に整復する事が出来ます。

マウスピースを装着する必要ありません。

脱臼整復後にその原因を見つけ、再発がないように生活改善と治療を行います。

整復後の患者さんの舌、頬口唇は緊張が和らぎ、口が大きく開き、痛みも有りません。

噛み合わせの違和感もなくなり、楽に噛めるようになったと喜ばれています。

食いしばりと顎関節症は深い関連があります。舌を健全な状態に回復させ併せて顎関節の治療を行うことで健康な顎口腔の獲得が可能になります。さらに全身状態も良くなり、真の健康を得ることが出来ます。

